

阪神大震災 30年 戦後 80年を想う

1月17日朝5時、めざまし時計のベルが鳴った。布団の中でその日の出張スケジュールを思い浮かべていた。起き上がるこうとした瞬間、強烈な縦振動があり、室内灯は消え、真暗な部屋の家具が倒れる気配がした。一瞬飛行機が落ちたと思った。暫くして傾いた家から這い出すと赤い満月の下、裸足で立っていた。3年後西神ニュータウンに家を建て移り住んだ。春日台地区は空き地が多く仮設住宅が数十棟建ち並んでいた。その脇でぽつりぽつりと新築住宅が建ち始めていた。毎日「仮設」と「新築」が混在する光景を見続けてきた。阪神大震災から30年、各地の被災地にみられるのは、天災がとりわけ弱者の生活を破壊する深刻な現実であった。

2025年は戦後80年である。昨年12月日本原水爆被害者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞した。原爆被害者たちは、日本政府の「受忍論」（国民は戦争被害について等しく受忍する）は誤りであり、自身の救済にとどまらず広く国内外に向かって原爆の悲惨さと核廃絶の必要を、身を挺して訴えてきた。

世界各地で戦争や武力衝突が止まらず、ひとびとは今も殺しあっている。ロシアは核兵器の威嚇を声高に叫んでいる。1972年本土復帰前の沖縄には1300余発の核兵器が配備され、復帰後も有事には核兵器の持込を認める秘密文書も明らかになっている。

わたしたちは戦後80年、曲がりなりにも戦争の道を歩んでこなかった。多くの戦死者から託された平和の強い願いが9条の非戦であったことが今再び浮かび上がってくる。被団協の田中代表委員は受賞スピーチで「この瞬間に直ちに発射できる核兵器が4000発も存在している」「核は人類と共存できない」「核保有国やその同盟国のひとびとは当事者として核廃絶に向け立ち上がること」を呼びかけたのである。

平和のバトンは、次の世代に引き継がなければならぬ。（春日台・大西）

- ◆ 1月のつどい 1月19日（日）
「被団協の歩みと核廃絶へ向かって」
講師 副島國義さん（兵庫県被団協事務局長）
西区文化センター2階第1会議室
14:00～16:00 （参加費300円）
※詳しくはチラシをご覧ください
- ◆ 「自衛隊への個人情報提供学習会」
1月27日（月）18:30～
中央区文化センター1001・1002
講師 佐藤博文弁護士（北海道合同法律事務所）
※12月つどい講師 吉田弁護士の紹介です

- ◆ 2月のつどい（年次総会）
2月16日（日）14:00～16:00
西区文化センター2階第1会議室
- ◆ 第17回記念のつどい
5月24日（土）開演13:30～
西区文化センター2階 なでしこホール
テーマは「被爆ピアノ」
- * ピアノを演奏してくれる大人、こどもの方を募集しています。
ご希望の方は島田まで（090-5137-6837）

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています
★次回は2025年2月1日（土）16:00～17:00



「マイナ保険証」なんていらない

石破首相は、自民党総裁選挙前は、マイナ保険証と現行保険証について「併用は選択肢として当然」と、言っていましたが、例の手のひら返しで、健康保険証を廃止してしまいました。

廃止と言っても、新規の発行できなくなるだけで、現行の保険証は、2025年11月まで1年間は有効で使えます。また1年後には、「資格確認書」が発行されます。この「資格確認書」は、健康保険証と何らかわることなく、受診に使えるものです。「マイナ保険証」いらないという方は、心配いりません。

そもそもマイナ保険証の利用率は、2024年10月時点でも、全国平均15.67%と、極めて低水準です。兵庫県は、平均を下回る15.33%で47都道府県中30位です。

国民が総スカンしているのに、政府がゴリ押しするのは一体なぜなのでしょう。たとえ1割の利用しかなくても、全国で全ての病院、診療所は、マイナ保険証を読み取るための機械を設置しなければなりません。その機材、ソフトの販売で利益を得る企業があるからです。

自民党は裏金問題で明らかになったように、企業献金をうけ、企業のための政治を行なっています。のために医療現場でどんなに混乱が起こっても、平気なのです。

マスコミが、医療現場のトラブルをほとんど報道しないのも問題です。近頃、SNS情報に振り回されることが大きな問題になっていますが、「健康保険証は、外国人が偽造するから」というウワサも流れています。しかし、もし本当にそんなことが、しかも大量に起こっているなら大問題です。しかし、そんなニュースは一度も聞いたことはありません。そんなことも含めてマスコミは、事実を国民によく知らせる義務があります。「だます方が悪いが、だまされる方も悪い」などと言われることがありますが、政府が権力を使ってウソをつけ、マスコミがその片棒をかつぐことがあってはなりません。

「消費税は社会保障のため」と、私たちはだまされてきました。私たちが賢くなつて、だまされないようにしなければなりませんが、マスコミにはもう少しともになってもらいたいと強く思うこの頃です。

(狩場台k)

12月つどいの報告

15日(日)西区文化センターで吉田維一弁護士による「今、自衛隊で起きていること～憲法の守つてある平和について考える～」を開催した。話は①自衛隊とは何か②自衛官の人員不足の中で進むリクルート作戦③米国標準化しようとする自衛隊(大軍拡、大増税)の3つのテーマで進められた。

①自衛隊は国際的には軍隊。世界の軍事力で今年は8位。国内的には災害派遣のイメージ作り。軍隊での命令違反は死刑・無期懲役だが、自衛隊は懲役7年。これは憲法9条の平和主義による。

②自衛隊の人員不足は、幹部職は充足。「曹」に進む隊員の充足率は30%。しかし定員以上の応募があり、基準適合者の採用。部下がいない軍隊の危機のため、リクルート先は、学童保育、子ども食堂、社会体験・職業体験時、避難訓練時など様々な機会を利用。

③安保3文書とは米国の指揮下での自衛隊の装備などの増強計画。その中心は敵国中枢部への先制攻撃能力の保有。自衛隊は米国の遠征前方基地作戦(日本の盾から米国の矛と盾の役割へ変質)、9条による安全保障と軍拡による安全保障のリスク分析で、敵基地攻撃能力でミサイルは何発必要なのか、巨額予算が必要！

質疑で先生の回答は、○韓国の戒厳は憲法にあるが、日本国憲法にはない。自民党案は緊急事態条項を挿入。○選挙中のSNSの危険性、表現の自由との関係。組織的に営利性と匿名性を持ったSNSが使われ、それに依存する人が何故そうなるのか。他者の胸に響くメッセージを、と指摘された。

○神戸市が自衛隊に18歳と22歳の電子データを渡していることに住民訴訟を行っている等の丁寧な説明があった。 (島田)

ジョ一句

お題「風呂」

風呂つかり 今日も一日 生き延びた (空耳)

自由題

ノーサイド 五輪から 戦場へ行く (伝伝)

願い事 絵馬にアドレス 書いておく (骨歩)

2月のお題は「逃げる」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。



2025年1月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)



H P リンク

出口調査が示す分断社会 米国の姿



あのトランプが、選挙人 538 人中の 312 人を獲得して大統領の座に返り咲いた。

複数の世論調査結果の平均をとって選挙の帰趨を予測する「クック・ポリティカル・リポート」は、8月23日時点での両候補者の選挙人獲得数を、ハリス 226 人、トランプ 219 人とみなし、残る 93 人の行方が勝敗を決定すると報じていたが、蓋を開けてみるとトランプがこの 93 人のすべてを手中にした。この数字は激戦州と見なされていたペンシルベニア州やミシガン州など 7 州の選挙人の総和に他ならず、この結果をトランプ圧勝と評してもあながち過言とは言えないだろう。

CNN による出口調査結果（回答者 22,914）を分析すると、以下のような事実や傾向が判明する。投票者が今回の選挙の最も重要な争点に選んだのは、パーセント表示で多い順に「民主主義」34%、「経済」32%、「人工妊娠中絶」14%、「移民問題」12%、「対外政策」4% であったが、ハリス支持者が「民主主義」や「中絶」を重視したのに対し、トランプ支持者が圧倒的に重視したのが「経済」や「移民問題」であった。

「民主主義」については、意外にも双方の支持者に有意の差が見られなかった。また、白人や男性ではトランプ、非白人や女性ではハリス支持が多いのも、これまでの傾向の続きであるほか、年齢や所得階層別に両候補の支持傾向を見ても、そこに大きな差を見出すことはできない。

今回の出口調査結果全体を通じて、特に印象づけられたのは、投票者の家計の状態や、それと密接に関連する米国経済に対する評価であり、それが候補者の選択に決定的ともいえる役割を果たした可能性が高い。家計の状態が 4 年前より良好だと回答した投票者（全体の 24%）中の 8 割以上、また米国経済の状態が好調だと回答した人（全体の 31%）中の 9 割がハリスに投票した一方、4 年前より悪いと回答した人（全体の 46%）の 8 割、米経済の状態が悪いと回答した人（全体の 33%）の 9 割近くがトランプに票を投じたのである。

本調査で、もう一つ際立っているのが、投票者の学歴と支持候補との間の関係である。全体として学歴が高ければ高いほどハリス支持率が上がり、反対に低いほどトランプ支持率が高まるという傾向が見られるが、これを白人に限ってみると次のようになっている。

回答者全体の 17% を占める白人女性大卒者の 57%、回答者の 16% を占める白人男性大卒者の 47% がそれぞれハリスを支持したのに対し、回答者の 20% を占める非大卒の白人女性、同じく 18% を占める非大卒白人男性は、それぞれ 63% と 69% の高率でトランプを支持しており、特に非大卒白人男性のトランプ支持はまさに圧倒的である。ここには、学歴社会と生活苦が紡ぎだす米国社会の姿が実にリアルに写し出されている。

（神戸市外国語大学 名誉教授 大塚秀之）

◆2月のつどい（年次総会）

2月 16 日（日）14：00～16：00

西区文化センター2階第1会議室

*24年度の報告と25年度の活動について

*会計報告

*「被爆ピアノ」紹介DVD 視聴

*年会費（1000円）納入もお願いします

多くの皆さんのご参加をよろしくお願いします

◆3月のつどい 3月 16 日（日）

「夫婦別姓について」14：00～16：00

後藤玲子弁護士に聞く（参加費 300 円）

西区文化センター2階第1会議室

◆第17回記念のつどい

5月 24 日（土）開演 13:30～

西区文化センター2階 なでしこホール

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は 2025 年 3 月 1 日（土）16:00～17:00

水のPFAS汚染について

TVや新聞で「PFAS汚染」の報道が増え、問題が表面化してきた。昨年末のNHKスペシャルでは、分かりやすく解説していた。

汚染は、今では全国に、そして世界中に広がっている。TVでは、岡山県の吉備中央町、岐阜県各務原市、大阪摂津のダイキン工場周辺など、汚染の実態を報道していた。吉備中央町の住民は「町がひっくり返ったようだ。不安でたまらない。早く、行政・住民・業者による話し合いをしてほしい」と話していた。各務原市の住民は「航空自衛隊基地周辺の濃度が高いので基地内を調査してほしい。汚染源を特定すれば、解決策が見える」と話していた。どの地域も、住民の誠実で切実な姿勢が印象的だった。PFA Sの中でも、PFOAとPFOSは、発がん性が高いことがわかり、WHOがPFOAを第一種に認定した。これらは、長く体内にとどまるので、身体の異変の原因がわかりにくい。

TVを見て驚いたのは、欧米では疫学調査の結果を重視している。その半数は、PFASが人体に影響しているというものだ。明確な被害が出る前に対策を取るという予防原則を大事にしている。しかし、日本は、疫学調査を無視して、まだ不確かな部分があるとして問題を先送りにしている。先ごろ、環境省は、PFASの暫定基準値50ナノグラムをそのまま法的拘束力のある基準値にすることを決めたようだという報道があった。アメリカは、4ナノグラムと決めているのに、なぜ日本は、基準値を厳しくしないのか？ 疑問ばかりが膨らむ。

今後も、PFAS汚染について、私たちは、学習しなければならないと思う。 狩場台 K子

お題「逃げる」

ジョーク

人類の 最強の智恵 逃げること（空耳）
夏の夜の 終電逃し ベンチでごろ寝（伝伝）

自由題

風見鶏 トランプなびく 大富豪（現妻）

3月のお題は「春闘」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。



1月つどいの報告

アジア太平洋戦争敗戦80年、被ばく80年。阪神淡路大震災30年の今年、最初の「1月のつどい」は「ノーベル平和賞受賞—被団協の歩みと核廃絶へ向かって」と題しての兵庫県被団協事務局長の副島匂義（そえじまくによし）さんのお話でした。

副島さんから自己紹介として自らの被爆体験を丁寧にリアルにお話しいただきました。自宅は爆心地から2.5キロにあり建物は倒れたが同じ町内で焼けてしまった家はあったけれども、副島さん宅は燃えなかつたとのことで、お母さんの手記を中心に語られました。「はぐれてしまった兄(2人)を探すお母さんは、あちこちに上がる火の手、血まみれの人たち、背中が割れてしまっている人達を見て、あきらめて家へ帰られた。動き回ったからかお母さんは、炎天下の河原で陣痛になり、近所のおばあさんたちの助けによって8月19日に副島さんはこの世に誕生されました」。はぐれた兄たちも家族も幸い無事で副島さんは「生かされた命」として80年生きてこられました。そうした自らの体験をもとに日本被団協の69年を語られました。私たちもよく見る広島の平和公園の碑の「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」の論争になることに対して「被害、加害、抵抗(反戦)の歴史を知り、語り継ぐ。『戦争受忍論』『加害の否認』を乗り越える『戦争は違法』を確かなものにしていく『意思』として受け止めたい。」と語られ、さらに「日本原水爆被害者団体協議会結成宣言=世界への挨拶」と日本国憲法前文との関連のお話や、今被団協が掲げている二つの「基本要求－①戦争を起こすな核兵器をなくせ ②国家補償としての真の原爆被害者援護法の即時制定」を訴えられました。被ばくされ年老いても今なお、日本被団協のみなさんはスペインまでかけ、戦争を終わらせる訴えや、核禁条約批准への訴えの声は、平和を求め続けている私たちにとって大きな励ましや勇気を与えてくださいました。

最後に4～5人の質問・交流や6人の感想がありました。その感想に「もっと多くの人に聞いてほしかった」。22人の参加に対する問題提起もありました。

ぜひ、どうすれば参加者が増えていくのか今後話し合っていきましょう。 (たけし)

2025年2月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)



HPリンク

米不足に思う・・・軍備増強より食糧の安全保障を！・・・

政府の「備蓄米」の放出が実施されました。我家は「兵庫農民連」から米などの購入契約をしているので、米については心配のない状態でした。しかし、農民連で米だけを契約している方は4月と5月の販売が止まるとのことで、その深刻さが分かりました。農民連や生協個配の配達員から米不足の実情を聞くと以下のような内容でした。

「米価格高騰の主原因は、減反政策による生産量の減少と大手企業の買い占め。今の在庫は例年と比べて、農協で2割、農民連は1割不足の状態。消費者との兼ね合いで値上げが難しい。そのため配達を一時中止せざるを得ない。米は昨年5キロで1980円のものが、今は2980円以上している。儲かる商品には大手企業が参入して米を買い占めているので、今後とも食糧不安が続くと思う。」

米についての思い出は、子どもの頃、米穀通帳を持って、買いに行かされたこと。30年前の米不足（平成の米騒動）でタイ米が緊急輸入され、その後落ち着くとタイ米が捨てられた状況を見て、日本人の非礼な態度に憤ったこと。又、田舎から米が送られてきたこと等。しかし、今回の「令和の米騒動」は、気候による不作だけではなく、明らかに政府の食糧管理の失敗であると思います。

日本では戦中戦後「食糧管理法」によって、食糧の流通は厳しく管理され、価格も政府が決めていました。しかし、1995年にWTO（世界貿易機関）協定を受け入れ、食管法を廃止し、「計画流通制度」に移行し、米の全量管理をやめてしまいました。政府への米の売り渡し義務も撤廃し、買い入れは「備蓄米」に限定し、「ヤミ米」「縁故米」を合法化しました。その後、全国一律の「標準価格米」をなくし、完全自由流通になりました。

食糧危機をなくすためには、市場原理任せの米政策を改め、政府の責任で流通管理を行えるようにすること。買占めへの罰則も含めた法制化。減反を中止し、生産量を増やすこと。米農家の倒産・廃業も増え、過去最高となっているので、若い人も農業生産に関われるよう欧米のように米農家への価格・所得補償制度を創立し、安定的な供給体制を構築すること。などが提案されています。

軍備増強より国民の食糧安全保障を！！

（竹の台 島田）



◆3月のつどい 3月16日（日）

「選択的夫婦別姓について」

後藤玲子弁護士に聞く

西区文化センター2階第1会議室

14:00～16:00（参加費300円）

※詳しくはチラシをご覧下さい

◆4月のつどいはありません

◆第17回記念のつどい

5月24日（土）開演13:30～

「響け世界へ 被爆ピアノコンサート」

西区文化センター2階 なでしこホール

*5・3兵庫憲法集会プレ集会

3月21日（金）18:30～

※詳しくはチラシをご覧下さい

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は2025年4月1日(火)16:00～17:00

ネット社会が見失っているもの

世はネット社会である。私たちは時間や距離を越えて世界の情報が瞬時に繋がる社会に暮らしている。更にAIが進化すれば大概の疑問にも応答できる社会が実現されるかもしれない。しかし一方で政治、民族、人種、人権、宗教など人びとのアイデンティティをめぐる対立が深刻化し憎悪が激しさを増している。とりわけ若い世代にはネット社会は所与のものである。ネット情報はその真偽に拘わらず瞬時に大量に拡散され、立ち止まって考えることを許さない。私たちは身の回りや暮らしの現場で起っている事を議論したり考えたりする思考のプロセスを失っているのではないだろうか。ネット情報は参考にすることはあってもいろんな角度から自分自身が判断することを諦めてはならないのだと思う。(Y.O)

「車内にはスマホをいじる人ばかり世界とつながり隣と切れている」(朝日歌壇・小柴旦)

兵庫県知事選挙については、今も、捜査が続いている。そして、N党のT氏のデマが拡散され、犠牲者も出ている。ネット社会は、恐ろしいと思う。報道特集(2月7日放送)というTVで、「ネットでは、事実かどうかよりも、自分の考えに合っている情報を事実だと思う」という調査結果が紹介された。この得体の知れないネットにどう対応したらいいのだろうか？ 私たちにできることは、小さいが、話し合いたい。(K)

X(旧・ツイッター)、Facebook、YouTubeを念頭に考えると「エコーチェンバー現象」がおきやすいことが問題だと思います。自分と似た興味関心を持つユーザーをフォローすることで、同じような価値観や考え方の意見ばかりに触れるようになる結果、自分の考えは「正しい」「多数派だ」と信じてしまう、もともと持っていた感情が正しいと裏付ける意見やニュースが飛び込んできたとき、人は真偽を疑うことなく信じてしまう。先の県知事選で齊藤信者は、立花孝志やそれに類する発信をインターネット上で「自分で」検索して探し当たった結果、「これが正しい」と信じるようになったのではないでしょうか。私たち自身も、他者の意見を一切見ない聞かない状況ではますます分断が深まり、対話が不可能になることを肝に銘ずる必要があります。(T)

2025年度総会

2月16日(日)14時から西神文化センターで総会が開催され、18名が参加しました。

1. 会計・監査報告

昨年度、会費納入を積極的に訴えかけしたことにより会費納入者(会員数)が一昨年の51名から74名に拡大、「記念のつどい」も会場カンパで何とか収支黒字を保つことができ、年間収支の均衡が図れたことが報告されました。また事務局から現在の監査日を基準とした会計年度の定例化を図るため、今年度の会計の締めを12/31とし、来年度以降1/1～12/31を会計年度とすることが提起されました。

2. 2024年の振り返り

第16回記念のつどいは参加者190名、毎月のつどいは各回の参加者20名～30名程度、NEWS「つながり」は読者会員215名など報告がありました。

3. 今後の取り組み

大国の自国第一主義が顕著となる中、9条の平和の意志(「非戦」・「交戦権の放棄」)を現実の課題として市民運動を継続し展開していく必要があるとして、今年度の具体的な取り組みについてはNEWS、HP(ホームページ)の月1回更新、「1の日行動」、「記念のつどい」を継続し、「月のつどい」参加者の拡大やテーマごとに呼びかけ対象を広げる等提案がありました。

また、役員体制(会計の交代)、「記念のつどい(被爆ピアノ)」の取り組みの提案、HP及びNEWS「つながり」編集担当からのHPアーカイブの活用や投稿・原稿募集などの訴えがありました。

会員の拡大や、若い人へ運動を広げていく課題など多くの参加者から活発に意見が交わされ、全ての議案が承認されました。(ひろし)

お題「春闘」

ジョ一句

30年 給料上がらん なぜ怒らん？ (空耳)

自由題

米不足 休耕田が 泣いている (伝伝)

青虫が グルメとなった 春キャベツ (現妻)

3月のお題は「筍(たけのこ)」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

2025年3月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)

つながり 西神ニュータウン9条の会

April 2025
No.328

西神ニュータウン9条の会「第17回記念のつどい」



「ひびけ世界へ 被爆ピアノコンサート」を開催します

2025年5月24日(土) 西区文化センターなでしこホール

昨年12月日本原水爆被害者団体協議会が、ノーベル平和賞を受賞しました。戦後80年被爆者のねばり強い活動により核兵器禁止条約が国連で制定され、多くの国が締結に参加しています。

このたび西神ニュータウン9条の会では、広島で被爆したピアノでのコンサートを開催することになりました。被爆ピアノの演奏を通じて、原爆の悲惨さと、次の世代に平和のバトンをつなぐ大切さを痛感しています。

地域のピアノ教室の生徒さんやプロのピアニストの演奏、地元の医師の歌、被爆者の声などを予定しております。みなさまのご参加を心からお待ちしております。

※詳細は同封チラシをご参照ください

非核「神戸方式」の神戸港で3月24日、米掃海艇「ウォーリア」が非核証明書を提出しないまま神戸港摩耶埠頭に入港しました。1975年に同方式を確立してから米軍艦入港は初めてです。

西神ニュータウン9条の会は、3月22日神戸市長に抗議し、撤回を求めました。



神戸市長 久元 喜造殿

2025.3.22 神戸市西区 西神ニュータウン9条の会

「米国軍艦の神戸入港許可に抗議するとともに撤回を求める」

私たちは、神戸市が米国の掃海艇「ウォーリア」の神戸港入港につき1975年3月の神戸市議会における「核兵器搭載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」に基づき「非核証明」を義務づけるこれまでの対応を厳格に行うことを見守ってきました。しかし神戸市は3月21日非核証明書の提出がないにも拘わらず米艦の入港を許可する決定をしました。神戸市はこれまで50年に亘り神戸港に入港する外国艦船に対して核保有国である非核国である非核証明書の提出を求めてきました。神戸市の今回の決定は神戸市議会の決議に違反し非核「神戸方式」を否定するもので断じて許されるものではありません。すみやかに入港許可の撤回を求める。

神戸市民のいのちとくらしを守り、神戸港に働く労働者の安全を守るためにには、いかなる国の軍艦などの寄港は厳しく拒否していくべきです。

今年は非核「神戸方式」50周年となります。神戸市が神戸市民にとって今後も平和な都市であることを願ってやみません。

以上

戦争させない9条壊すな
5・3 兵庫憲法集会

5月3日(土)
13時～14時
神戸・みなとのもり公園
ご一緒に参加しましょう
西神中央駅改札口
12時集合です

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は2025年5月1日(木)16:00～17:00

2月25日(火)バスを仕立てて立命館大学平和ミュージアムへ行つきました。「西神ニュータウン9条の会」「神戸医療生協」「神戸に平和記念館をつくる会」等を中心に総勢42人が参加しました。圧倒的に高齢者の集団でしたが、平和な日本をつくろうという情熱は熱いものがあります。

私は10年近く前に行っていますが、2023年9月に大幅な改修をしており、どのように変わっているか楽しみでした。

巨大な年表とテーマ展示

展示は地下室だけになっていました。

片側の壁面一杯に15世紀の大航海時代、欧州列強が植民地を分割した時代から現代までの戦争、暴力的な出来事を、写真や図表などを使って年表として表示しています。読み切れないほどのボリュウムがありました。

しかし個々の項目はそれほど深くありません。深い話はガイドの方と話をする、グループで意見交換をするということです。年表が植民地支配からというのは、近代戦争の性格を捉えたものと思います。

反対側はテーマ展示です。「帝国主義」「15年戦争」「戦後の世界」の3つのコーナーがありました。これは動画や証言などがありきわめて具体的です。

残念ながら展示室は撮影禁止でした。

実物がない

前回は色々と実物がありました。その一つが兵士が担いだ背嚢 30kgです。これを担いで鉄砲を持っての行軍がどんなものか実感することが出来ました。この印象が強く残っています。

すべてデジタル化するよりも、一部にアナログを置く、そういう工夫があつてもいいと思いました。

さっと見るのではなく、じっくり見て意見交換をする、グループで行き平和と戦争について考える、そういう博物館でした。 (Q)

お題「筍」

年金者 値上げ値上げで 筍暮らし (伝伝)

自由題

徳高き 人は自腹で 商品券 (骨歩)

軍靴より 神戸港には JAZZ が合う(非核)

5月のお題は「晴れ」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

ジョ一句

選択的夫婦別姓制度について: なぜ実現しないのか

弁護士の後藤玲子さんを講師に20名の参加で行われた。

自分がどの姓を名乗るかは、自分らしさを主張する個人のアイデンティティの問題だが、結婚とともに96%の女性は夫の姓に変わる。女性が旧姓を名乗って自分自身のアイデンティティを保ちたいときは、事実婚を選ぶか戸籍上は夫の姓を選びつつ「通称」を使うことになる。講演の中でも、最高裁判事を務めた桜井龍子さんの例が紹介された。労働省では女性局長まで務めたが、旧姓の藤井を使っていた。最高裁判事に任命されたときに、桜井を使うことになったが、過去の経歴と結びつかないため理不尽な評価を受けたこともあった。一方、事実婚を選択すると、遺産の相続権がない・子供と父親との親子関係が自動的に認められない、など多くの不利益がある。

1996年に法制審議会が選択的夫婦別姓導入という答申を出したが、依然として法制化されていない。何回も議員立法として国会に提出されたが、全て廃案になってきた。経済団体も選択的夫婦別姓を支持しており、国際的にも法的に認められないのはほぼ日本だけという状況で、国連の女性差別撤廃委員会も、昨年、法制化を促す4回目の勧告を出した。自民党政府があくまで反対し、30年間も法制化が進まない理由は、自民党などを支持している団体の非常に強い意思が働いているためではないか。「家族制度」を維持し、天皇を頂点とする家族的国家体制を復活させたいという、改憲とも結びついた力が働いているのだと指摘があった。

講師の歌、

「別姓に反対続ける政党に一票投ぜし

責任(せめ)あり 女性も」

にあるように、法制化実現には政治を変えることが必要なのだろう。 (櫻野台 KH)

「西神ニュータウン9条の会」～これからに向けて

敗戦80年、被爆80年。この間、平和、戦争に対して様々な出来事がありました。今、改めて思い出すこととして、1999年5月、核軍縮だけでなく平和をめざす、すべての課題に取り組む世界市民平和会議（ハーグ平和アピール）がひらかれたことです。世界から1万に近い市民がハーグに集まり、日本からもおよそ400人が参加しました。その中で、平和をつくる課題と方法の全体像を目指すものとして「21世紀の平和と正義のためのハーグ・アジェンダ（課題）」と「公正な世界秩序のための10の基本原則」がつくられました。この「10の基本原則」は会議の最終日に、4日間にわたる討議のまとめとして発表したもので、その10の基本原則の第1番目は「各國議会は、日本国憲法9条のような、政府が戦争をすることを禁止する決議をすべきである」をきめました。すごいことだと思いませんか。20世紀の終わりに、日本国憲法9条が世界にとどろいていたのです。

昨年暮れ、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ、ノーモアヒバクシャ、ノーモアウォーが世界中に広がり、「非核日本」が世界に根づいていったのです。被爆から80年、何度もくじかれそれでもまた立ち上がって生涯かけて立ち上がってきた被爆者たち。日本被団協代表の田中熙己さんは受賞あいさつで「私たちの運動を次の世代のみなさんが工夫して築いていってくれることを期待しています」と私たちにバトンを渡しています。日本国憲法を守ろうとしている私たち、被爆者たちの様々な運動に学んで、今、地球温暖化の危機、核兵器使用の危機、自然災害の危機、貧富の差の拡大等々、人類が生命の危機におおわれている中、日本国憲法前文、9条を日本の多くの市民はもとより、世界の人たちに粘り強く語りかけていくこと、すなわち被爆者たちがつくり上げた「非核日本」のように戦争しない国—武器を持たない国、「平和で安全な日本」と世界の人々に認知してもらう運動が求められていると思います。また、それは被爆者からのバトンを引き継ぐことになるのではないかでしょうか。（たけし）

西神ニュータウン9条の会「第17回記念のつどい」

「ひびけ世界へ 被爆ピアノコンサート」成功のためにお力を貸し下さい

「第17回記念のつどい」5月24日（土）

西区文化センター2階なでしこホール
13:00開場 13:30開演

チケットの販売にご支援をお願いします

*チケットの 島田（090-5137-6837）
お申込みは 大西（090-3359-0776）まで
※詳しくはチラシをご覧下さい

◆6月のつどい 6月15日（日）

「食と農について考える」
～米不足、自給率の危機など～（仮題）

講師 柳澤 尚さん（兵庫食健連事務局長）
西区文化センター2階第1会議室
14:00～16:00（参加費 300円）

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は2025年6月1日（日）16:00～17:00



老後の不安増大

訪問介護の事業所の閉鎖

全国で訪問介護の事業所が倒産・休業に追い込まれているニュースを見ました。2024年に政府が訪問介護の基本報酬を2~3%削減した影響で、倒産・休業が一気に増え、2024年は、529件と過去最高。事業所がゼロの町村が97、残り1ヶ所の市町村は、277にのぼっているそうです。(住民と自治 4月号より)

私の所属する事業所の所長さんに、現状を聞いてみました。「神戸市須磨区の事業所ですが、運営は厳しく、定期巡回(1日数回訪問(夜間含む)して、サービスを提供する)をしているので、なんとか持ち堪えています。この先、続けていけるのか、とても不安です。都市部では、サービス付き高齢者住宅での訪問介護の利用が伸びていますが、自宅を訪問する介護は、時間もかかり、交通費など大変な負担になっていますが、一律に減らされています。また、慢性的な人手不足と高齢化が深刻です」と、話していました。2000年に「社会で介護を支える」として、介護保険制度が始まりましたが、今では、高い介護保険料を払っても、介護を受けることができないという事態になっていく(すでになっている)のではないでしょうか? 心配です。 (K)

ジョ一句

お題 「晴れ」

うっかりと「晴れる」と「禿げる」間違えた (空耳)

自由題

「軽」だけが 路地を走れる 国もある (アメ車)

こわいのは 大軍拡に 黙す世論 (伝伝)

6月のお題は「あじさい」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。



開幕した大阪万博、

どうなる?

もう、さまざまな問題点が指摘されている大阪万博、4月13日に開幕してしまいました。その時点で完成していない海外パビリオンが4つ、1年以上前から「間に合わない」と工事の遅れが指摘されていましたが、現実のものとなってしまいました。

さらに埋め立て地である夢洲はメタンガスが発生、爆発事故も起きましたがその対策がしっかりとられているとは言えない状況です。

批判的な報道をしていたメディアも、いざ始まってしまえば、東京オリンピックのように「感動」や「見どころ」を紹介するPR報道になってしまいました。YouTube では、いろいろな立場での動画が多数上がっており、参考になります。

ここで入場者数についてみていくと、100万人を突破(4月25日に一般入場者数)しましたが、協会が目標としている期間中に2820万人からすると、1日平均15万人を大きく下回っています。ゴールデンウィークや夏休みには1日20万人以上をもくろんでいますが、大混雑と行列は緩和されるのか、雨風がしのげない大屋根リング、休憩場所が少ない、本格的な暑さが来れば大丈夫か、など懸念が絶えません。1970年の吹田市で開かれた万博は、当時1億466万人の人口で6422万人(多数リピート含む)が来場、1日あたり35万人でした。入場者数の目標達成は、早くも不可能と予見されます。筆者は行くつもりは毛頭ありませんが、行かれる方はよくよく準備して行って下さいね。 (T)

26日、デモ飛行していた「空飛ぶクルマ」の機体から部品が落下するトラブルがあった。



2025年5月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク

第17回記念のつどい 「ひびけ世界へ 被爆ピアノコンサート」

平和への願いを届けてくれた「被爆ピアノ」

5月24日(土) 西区文化センターなでしこホールで「被爆ピアノコンサート」を開催しました。小雨の降る中でしたが、265名の方が参加され、「演奏の皆さんのが被爆ピアノに思いを込めて弾いていることが伝わり、感動しました！」などの感想が多く寄せられました。■「被爆ピアノの話」は広島の被爆2世のピアノ調律師である矢川光則さん。被爆ピアノを7台授かり、2005年からトラックに載せて、全国3000か所を回っている。このピアノは海外でも演奏されている。参加者から「被爆ピアノがこんなにも美しい音色で私たちを魅了してくれた」「ピアノに歴史の証言者として語らせる意味は深い」などの声がありました。



矢川さんと出演者の方々

■「TAKEMOTOピアノ教室の生徒さんと先生の演奏」では 年長組から中学2年生までの5名の生徒が演奏。親子である竹本玲子・玲美先生が連弾。そして、先生から生徒たちに被爆ピアノを弾いた感想のインタビューでは、両親が広島出身であることや事前に広島原爆資料館を見学した生徒がいるなどの紹介もあり、感動を呼びました。「子どもが被爆ピアノに込めた平和への気持ちが伝わってくる優しい音色だった」「先生親子による連弾。息が合って大変良かった」などの感想が寄せられています。■「ノーベル平和賞受賞のメッセージ」として、明石市原爆被害者の会会長・岸本さんから日本被団協の歴史と今回の受賞の意味として、核兵器が使われるかもしれない世界情勢の中で、我々に一層の努力を課したものと考えている。また、自身が被爆した2歳半でも覚えている当時の体験を話されました。

■「平和を歌おう」では、中村宏臣医師が「一本の鉛筆」他1曲を独唱。併せてヴァイオリン演奏も。次に元小学校音楽教師の川上さんから、「九条の会」発起人の一人である井上ひさし作詞「ひょっこりひょうたん島」、戦争体験のひもじい思いから「アンパンマン」を創作したやなせたかし作詞「手のひらを太陽に」の歌唱指導もありました。

■最後にピアニストの廣瀬一葉さんの演奏があり、「月光」「ひまわり」他3曲と「原爆許すまじ」を追加。「選曲に

込められた想いや音色を愛おしむような奏でにも心打たれた」「特攻隊の明日出撃されるという兵隊さんの「月光」

の話がよく、せつない音色でした」との感想がありました。フィナーレは「折り鶴」の歌を合唱して閉会としました。

今回のつどいには、9条の会活動への期待も多く寄せられ、被爆ピアノの響き、改めて平和への想いを強くしました。

つどい当日に、参加者の皆さまから9条の会に55796円の募金が寄せられました。厚くお礼を申し上げま



◆6月のつどい 6月15日(日)

「守ろう日本の食と農」

講師 柳澤 尚さん(兵庫食健連会長)

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00 (参加費 300円)

※詳しくはチラシをご覧下さい

◆7月のつどいはありません

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は 2025年7月1日(火)16:00~17:00

「9条は世界平和の道しるべ」 5・3兵庫憲法集会

5月3日五月晴れの下、「戦争させない。9条壊すな！兵庫憲法集会」が神戸・みなとの森公園で開催された。

今年のメインテーマは「被爆80年、戦後80年憲法はあなたの命と未来のサポーター」。県内各地から9条の会、各種市民団体、労組など3500名が参加した。代表挨拶で羽柴弁護士は「世界各地で戦争が続き多くの命が失われている」「被団協のノーベル平和賞の受賞と戦後80年改めて憲法の恒久平和、基本的人権、国民主権の基本原理を継承していかねばならない」「9条を世界平和の道しるべとして市民が行動していこう」と呼びかけた。

今年のメインスピーカーはピースボート共同代表の畠山澄子さん。広島や長崎の被爆者と共に世界各地に原爆の悲惨さと核廃絶を求めてきた自身の活動体験を語った。核実験地の被爆者とも交流し国家の閉ざされた枠だけではなく市民レベルの対話の重要さを指摘した。

最後に高校生平和大使の2名が、平和宣言を読み上げ、夏に開催される国連欧州本部で核廃絶をアピールする決意を発表した。

当会から18名が参加、フラワーロード、三ノ宮の繁華街をデモ行進した。（春日台・大西）

ジョ一句



お題「アジサイ」

紫陽花は 平和占う リトマス紙 (空耳)

自由題

大の里 米でください 懸賞金 (骨歩)
減税は ずっと前から 法人税 (現妻)

7月のお題は「夕立」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。



17回記念のつどい アンケートより

○被爆者の話を直接聞いたのは、初めてでした。とても、よかったです。（70代・自宅に入ったチラシを見て参加）

○岸本さん(明石原爆被害者の会会長)のお話に感動しました。（80代）

○被爆ピアノを弾くことになった子どもたちの思いが広がればなあと思いました。
ピアノ自体も喜んでいることだろうと思いました。（60代）

○子どもたちが被爆ピアノのことを学んだ上で、演奏されていて感心しました。様々な機会を通して子どもたちに戦争のことを伝えていけたら…と思います。また、被爆者の声を実際に聞く機会は少ないので岸本氏のお話がとてもよかったです。廣瀬さんの特攻隊の明日出撃されるという兵隊さんの「月光」の話もよかったです。せつない音色でした。（60代）

○戦争が起こらない、起こさせない世界を願います。被爆ピアノについてどこの地域かや持ち主について知りたかったです。演奏は、心がこもっていてよかったです。

戦争体験者が少なくなる今、次の世代に向けてこのような活動を続けていく必要を痛感しました。貴重な体験をありがとうございました。
(50代・駅を歩いていたら立っていた女性からの案内で知った)

○幼いお子さんも被爆ピアノの意義と歴史の重みを深く感じて演奏していることに感じ入りました。廣瀬一葉さんの選曲に込められた想いや音色を愛おしむような奏でにも心打たれました。平和についてしみじみと考えるひとときになりました。ありがとうございました。（60代）



みなさんのご協力ありがとうございました。

2025年6月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)



HPリンク

軍事化する社会

5月23日、神戸大で

「学術会議問題と大学での軍事研究のあり方を考える」集会が開催された。国会では「学術会議法案」の審議が山場をむかえていた。講演者は隱岐さや香さん（東大教授）。大学関係者や市民など約70名が参加した。この間神戸大では、2017年の学術会議の「軍事的安全保障研究に関する声明」を受け、学長通知で「大学から生まれる研究成果は軍事目的ではなく平和利用されるべき」とした方針が、2025年4月に撤回され軍事研究への応募自粛が解除されていた。この結果、学内から防衛省の「安全保障技術研究推進制度」（政府25年予算100億円）への申請提案が7件あり、学内審査で今年度は応募を見送ることとなった。



隠岐さんは「大学における研究技術開発が一段と軍事化の道を歩み始めており、学術会議法案はそれを一層加速するものだ」と指摘した。また参加した教員は神戸大の今回の方針転換は「平和のための研究活動という規範を投げだしたものだ」と語った。

今年3月神戸港に米国掃海艦が「非核証明書」を提出せずに入港した。1975年神戸市議会では全ての外国艦船に核兵器を搭載していないことを示す「非核証明書」を義務づけ、神戸港の管理者である神戸市はこれを遵守してきた。久元市長は入港後の記者会見で「今後は個別事案に応じて判断する」と述べた。非核「神戸方式」の空洞化が懸念される状況が生まれている。

一方日本政府は民間の空港や港湾を軍民共用するために「特定利用空港・港湾制度」（政府25年予算968億円）による指定を拡大（11空港、25港湾）、施設の拡張、拡充を急速に進めている。

また神戸市は、防衛省の自衛官募集に対して、18才および22才の若者の名簿を電子データで提供しており、現在神戸地裁で個人情報を巡る訴訟となっている。

軍事体制の強化、拡大は兵器や基地などの軍事力の拡大強化にとどまらず、私たちの身の回りの生活に深く浸透しつつある。この状況は、社会の軍事化として捉えるべき状況を表わしているのではないだろうか。

石垣りん「赤い手紙の思い出」（抜粋）

「もしかして今日舞いこんだ白い紙が、あの赤い紙の親類ではないかと」

（文責）春日台・大西



◆8月のつどい 8月17日(日) 14:00~16:00

テーマは「学術会議法について」

西区文化センター2階第1会議室 参加費300円

◆9月のつどい 9月14日(日) 14:00~16:00

講師 松山秀樹弁護士 「自衛隊名簿提供問題」（仮題）

西区文化センター2階第1会議室 参加費300円

Act Now 1(イ千)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は 2025年8月1日(金)16:00~17:00

東京都議選から参院選を占う

6月22日、参院選の前哨戦とも言われ、全国が注目していた東京都議選の投開票がおこなわれました。結果はご存じの通り、自民が大敗、新興勢力が躍進となりました。獲得議席からみると減少したのは自民、公明、共産、維新。増やしたのが立憲、国民、参政という結果に。第1党に返り咲いた都民ファーストは±0でした。こうした傾向がそのまま参院選に結びつくかといえば、そう簡単ではなく、やはり都議選は地方選挙であり国政選挙＝政党選択ではないこと、さまざまな地域政党が選択肢にあることなどです。

また、127議席を42の選挙区で争い、定数1の小選挙区もあれば定数8の大選挙区もあり、単純な比例票はみえにくくなっています。

あえてこの結果から参院選を占うと、自・公・共・維は議席を減らすであろう、その分を立憲・国民・れいわがどれだけとるか、参政党がどれだけ議席を得るのか、が焦点かな、と。しかし、このカルト政党がなぜ支持を広げているのか、謎です。

(美賀多台 k)

ジョ一句



お題「夕立」

夕立に こども駆け出す 虹出てる (空耳)

自由題

忘れるな 砂に遺骨の 混じる島 (伝伝)

金婚式 未だに潜む 不発弾 (現妻)

8月のお題は「水平線」

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。



6月のつどい「守ろう 日本の食と農」を聞いて

折からの米不足と異常値上げで戸惑う中、兵庫食健連会長の柳澤尚さんに令和米騒動の根本原因を掘り下げて戴きました。(6/15、25名参加)

元々、米余りを恐れた自民党政府の減反政策(1971～2017)と、農家の高齢化に伴う生産力の減退が続く中、政府が食管制度を放棄し(1995)、輸入や流通の自由化を部分容認したことが農家にとって逆風となりました。その結果、下図の通り、米の生産量が消費量に接近して推移して来たのが今回の米騒動の主因です。加えて、近年、異常高温による米の品質低下、コロナによる学校給食の停止や外食減で流通が目詰まりしたのも一因のようです。

さて、日本の食糧自給率は38%、世界最低水準ですが、農家の減少にも拘らず、米だけは99%自給と頑張って戴いています。しかし、農家の頑張りにも限度があります。各国では農家への助成が実に手厚いのですが、日本ではショボいのが実態です。膨らむ防衛予算8.7兆円に対し、農水予算は2.3兆円(cf.米国の農水予算:31兆円)、冷静に考えれば、「食の安全保障」は何ともお寒い状況なのです。

長く続いた減反政策、TPP自由化、ショボい助成はいずれも自民党政府の失政ですが、根本議論より小泉農水相の備蓄米放出など小手先の施策に幻惑される世論が気になります。また、TVで米価高騰が騒がれると、すぐ買占めに走る短慮も自分達の首を絞めます。冷静な購買行動による需給の緩和で米価が反落し、セコイ流通在庫を開かせることも可能なのです。質疑で柳澤さんが強調された「生産者と消費者の連携・対話」や「持続可能な適正米価」が「食の安全保障」を再建する第一歩と確信しました。

(竹の台 タイガー)



2025年7月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)



HPリンク

自・公・維・国 合意

医療費 4兆円削減が意味するもの

自民・公明・維新と国民の4党は今年3月に「国民医療費を4兆円削減する」ことで合意しました。削減の主な内容は、全国で病院のベッド数を11万床減らす、OTC類似薬を保険から外す、などです。これらがどんなに重大な問題であるかは、いろいろな方が述べられていますので、是非ともそうした情報をお読みになってください。私は、4党合意の根底にある構図を考えてみたいと思います。

4党の主張は、「保険料が下げられる」というものです。今、社会保険料が高くて困っている方がたくさんおられます。そういう方々の要求を取り込んだ形です。しかし、これは間違った選択です。「医療費を削減すれば社会保険料を下げられる」は、一つの方法です。しかし、なぜ社会保険料が高くなったのか、その原因には目を向けていません。今、一番社会保険料が高いのは国民健康保険です。なぜ国保保険料が高いのか。主な原因は二つです。一つは国庫負担が削られてきたことです。国の負担を減らして保険料に転嫁する、そしておいて保険料が高いからといって、医療費を削れというのは本末転倒の選択です。もう一つは高齢者医療制度のために、社保からも国保からも支援金を支出させる仕組みにしたことです。これも国が国庫負担から支出すべきものを、保険者にツケを回しているものです。

医療費が増えてきたことは事実ですが、人口の高齢化が進めば有病率が高くなるのですから、当たり前のことです。「医療費が増えても国の負担は増やさない」そのために、厚労省の官僚が考えたことが、負担増を医療保険者の負担に転嫁することなのです。

「保険料が安くなる」は、どこまで本当でしょうか。

医療保険財政には、主に四つの収入があります。①国と地方自治体の公費負担(税金)、②被保険者保険料、③事業主保険料、④患者自己負担、の四つです。

発表されている2022年度の国民医療費を構成比でみてみると、国・地方の公費が38%、被保険者保険料が28%、事業主保険料が22%、患者負担が12%です。つまり医療費総額を100万円とすると、税金から38万円が支出され、事業主が22万円を負担しています。私たち国民は、保険料で28万円、自己負担で12万円、合わせて40万円を支払っています。合計100万円の給付は、全て国民が受けとっています。つまり、私たちは40万円を支払うことで、100万円の医療サービスを得ているわけです。自公維國の合意は、この医療サービスの1割、10万円を失い、代わりに保険料が3万円下げられるということです。これは差し引き7万円の負担増です。自公維國は、これはムダな医療費だといいます。11万床をムダ、OTC類似薬をムダと呼ぶ彼らは、患者に命と健康の犠牲を強いるものではないでしょうか。

(狩場台 角屋 洋光)



◆8月のつどい 8月17日(日)

「学術会議問題」を考える

講師 本間健二さん 大西慶雄さん

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16

参加費 300円

※詳しくはチラシをご覧下さい

◆9月のつどい 9月14日(日)

「若者たちの情報提供は憲法違反！自衛隊
神戸住民訴訟が問いかけるもの」

講師 松山秀樹弁護士

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00 参加費 300円

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は2025年9月1日(月)16:00~17:00

第9回九条の会全国交流集会(オンライン)開催

6月28日、九条の会全国交流集会がオンラインで開催された。参加したのは、各都道府県から計75団体、発表は20団体、4名の世話人から九条を取り巻く情勢の報告があった。

西神9条の会は玉津、学園、伊川谷の九条の会と共同参加した。当会からは今年5月開催の被爆ピアノコンサートと非核「神戸方式」の現状を発表した。

概要は次の通り。

ヒロシマ／新日鉄・呉の跡地に自衛隊基地計画

6月天皇皇后の広島訪問に小学生を動員

広島が再び軍都の危機

京都／オーバーツーリズム・国際観光都市・市民生活圧迫

足立／九条を多言語に翻訳、韓国新聞社から取材

九条の碑・地球儀を建立

伊藤千尋さん／九条の碑が85年の沖縄那覇市に始まり、全国36箇所。現在も計画拡大。

茨城・百里自衛隊基地の一画にも設置。

清水雅彦さん／全国で労組・市民団体・野党の共闘を

進めることが壊憲を止める。

高田事務局長／改憲勢力が2/3を下回る中、明文改憲

から実質改憲が更に進行している。世界で

戦争が続発する時代に九条の平和のメッセージ

を世界に伝える重要性を強調した。

(感想)全国対象のため発表団体数に限度はあるが、基

地を抱える県や沖縄などの発言も必要。

地域ブロック単位の開催も今後検討すべきと感じた。

(文責)春日台・大西

ジョ一句



お題「水平線」

見てみたい 水平線の 向こう側（空耳）

自由題

さようなら かなたにいても わすれない (Heidi)

記帳簿に 文字が震えて 80年 (骨歩)

9月のお題は「気配」(けはい)

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。

参議院選挙が終わって

7月20日投票の参議院選挙が終わって1週間がたちました。選挙前の予想通り自公は50議席がとれず、衆議院同様過半数に達しませんでした。投票率は増え、結果、参政党と国民民主党が増加しました。結果ご承知の如く石破首相退陣論が未だに続いている。退陣せよとの声は当然で、衆参2院での選挙で国民の判断は過半数を自公に取らせなかつたことに表れています。参院選前、私は自公が過半数を割った場合の野党政権を想像し、憲法を大切にしていく政府を期待していた。ところが、過半数は割ったものの自公を補完する政党が伸びたため、私の期待は壊れてしまいました。

特に参政党の役割は選挙後も話題になっているように極めて危険な様相が見えてきました。みなさん、同党の憲法草案をご覧になったでしょうか。

現憲法の9条に反して、同党草案20条には自衛軍を保持すると明記している。明らかに9条を否定するものであり、現憲法と大きく異なっている。ぜひ、読んでみてください。(また、新聞労連の定期大会において、参政党の神奈川新聞の記者への記者会見排除に抗議する声明も出ています)

あまり論じられていませんが、一人区においての野党統一候補が自民党候補者に勝利することも過半数割れに大きく貢献しています。(17選挙区中12で勝利)。特に沖縄選挙区において「オール沖縄」の候補者が勝利したことは私たちを勇気づけてくれました。さらに、被爆80年、分裂していた原水協と原水禁が日本被団協と共に「原爆投下を二度と繰り返さないための行動を国民に呼びかけた」とは被爆や平和への運動を分裂から統一へと、市民運動への励ましとして大きな反響を生んできています。私たち9条の会はこうした運動に勇気づられて、多くの市民との対話をいっそう広め、とりわけ、参政党に直感的に投票した市民との対話を広げ、日本国憲法そして9条を大切にして国民の平和で安全な国を目指して日本被団協のように、あきらめないで地道に市民との対話をさらに大きく広げていきたいと考えています。(竹の台 たけし)



2025年8月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)



HPリンク

憲法9条こそ東アジア平和の礎！

竹の台 島田

原水爆禁止 2025年世界大会は8月4日～6日の広島大会と7日～9日の長崎大会に参加しました。「世界大会」の意味は、海外の平和団体が集り、核兵器廃絶に向けて、各国の状況と運動の進め方などを「3～4日の国際会議」で論議し、内容を宣言としてまとめて、大会を進めるものです。この紙面では8月8日の長崎大会分科会「非核平和の日本とアジア」の内容を紹介します。広島大会の報告は「西神9条の会HP」を参照してください。



(長崎世界大会会場 8/9)

韓国のキムさん（社会進歩連帯、政策教育局長）。韓国では広島・長崎への原爆によって、朝鮮が解放されたという潜在意識が強く、中国、ロシア、北朝鮮の核兵器への不安から「核武装要求 1000万人署名」が取り組まれ、厳しい状況である。

米国のアンさん（平和のための退役軍人会、元陸軍大佐、元国防省官僚）。8人の大統領に仕えたが、イラク戦争は欺瞞の戦争だとして辞めた。米軍は、中国への危機感を煽り、東アジアで軍事演習を毎日のように実施。その目的は米軍の兵器使用方法の伝授で、兵器輸出のため。

フィリピンのコラソンさん（非核フィリピン連合事務局長）。1992年に米軍基地を撤廃したが、現在、米軍は10の基地が使用可能。南シナ海での中国の行動に恐怖感が植え付けられている。東アジアが平和だったのは、日本国憲法9条のお陰。又、国連憲章、国際法があったから。

川田さん（日本原水協常任理事）。各国（TAC加盟国42か国）はASEANの「インド太平洋平和構想を支持する」と言いながら努力しない。合意したことを各國政府に迫り、国際連帯を強めることが大切。

○ニュージーランド 非核「神戸方式」を学んで1987年に核積載艦の入港を認めない法律を制定。ANZUS協定（豪、NZ、米の集団的軍事同盟）から除名。今は、英語圏のファイブアイズ（英、米、加、豪、NZの軍事情報共有）に加入 **TAC—東南アジア友好協力条約**

○東京の麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会。六本木に在日米軍のヘリ基地があり、自衛隊統合作戦司令部の設置計画。騒音問題など、1967年以来の基地撤廃の運動紹介。

（感想）核兵器廃絶に向けての各国情勢は日本と同様、核抑止力論による核武装の動きが強まり、戦後の国際秩序の破壊が進行している。しかし、日本被団協のノーベル平和賞受賞は平和勢力への励みであり、被爆実相の継承を進め、核兵器禁止条約への批准や国連・国際法の順守を国際連帯の力で進めようとの意見、特に憲法9条が東アジア平和の礎だったとの発言と若い人の参加の多さとその発言にも励まされた。

◆9月のつどい 9月14日（日）
「若者たちの情報提供は憲法違反！
自衛隊神戸住民訴訟が問いかけるもの」
講師 松山秀樹弁護士
西区文化センター2階第1会議室
14:00～16:00 参加費 300円
※詳しくはチラシをご覧下さい

◆10月のつどい 10月26日（日）
「コープ電気/地域エネルギーを考える」
西区文化センター2階第1会議室
14:00～16:00 参加費 300円

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は 2025年10月1日(水)16:00～17:00

日本の気候変動に想う

連日、体温越えの「危険な暑さ」が当たり前になっています。さて、今年は気象庁発足150周年だそうですが、天気予報や災害速報など暮らしや公益に資する地道な活動には頭が下がります。その気象庁から5年ぶりに「日本の気候変動 2025」が公表されました。下記 URL or QRコードで、「概要版」をお薦めです。また、「地球温暖化と将来予測」、「気温」、「降水」、「海洋」の解説動画も分かりやすかったです。

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>



QRコード

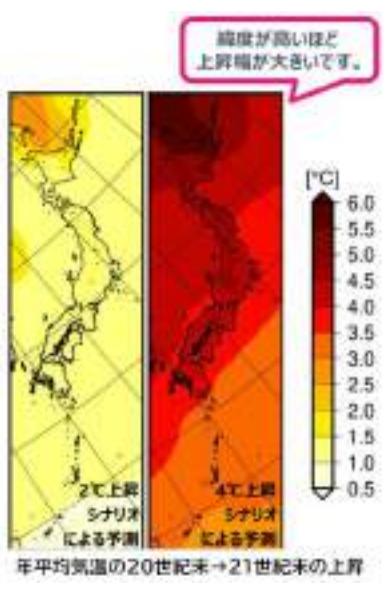
中でも僕自身、目から鱗だったのは…

第1に、温暖化といつても、一様ではなく、高緯度ほど、冬季ほど、温暖化が速いという観測事実です。

第2に、大気中の水蒸気増によって、豪雨が増える一方、降水量全体は減少する傾向にあることです。

第3に、日本近海での海水温上昇は世界平均の2倍という事実です。海水の酸性化でCO₂を吸収してくれるサンゴや生態系への悪影響が懸念されます。

元気象研究所長の友人は、「10年前には地球温暖化が足踏みしている見方もあったが、この数年、世界的温度上昇が顕著になった」と嘆いています。地球温暖化に対しては、トランプや化石燃料の利害関係者等、今も懷疑論者が発言権をもっています。地球は複雑系なので、100%人為起因とは必ずしも決めつけられま



せん。しかし、分水嶺(tipping point)を越えると、後戻りがきかなくなるのは確実です。地球温暖化はリスク・マネージメントという政治家の真価が試される地球的な課題と言えます。

少なくとも戦争等にうつつを抜かしている場合ではないのです。(竹の台 タイガー)

2025年9月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)

8月のつどい『学術会議』問題を考える

今年6月11日に強行成立された日本学術会議法人化法について、難しいテーマでしたが当会会員の本間健二さん（兵庫県立大学名誉教授）から分かりやすく話をいただきました。(参加26名)

また大西会長から「神戸大・学術会議法案と軍事研究」についての隠岐さや香さんの講演の要旨と「軍事化する社会」の報告も行われました。

最初に科学者が個人の政治的信条と無関係に愛国心や名誉などから積極的に戦争協力してしまうことがオッペンハイマーなどを例に紹介され、『日本学術会議』が科学者が戦争協力をしてしまった過去の反省から、憲法、教育基本法に続く一連の流れの中で法制化されてきたこと。2006年に教育基本法が改定(愛国心教育や国の関与)され、今回学術会議法が改定、その流れの次に憲法改正があること。また、発足にあたり「我が国の平和的復興と人類の福祉増進のために貢献」(抜粋)と決意表明してきた学術会議が果たしてきた役割と政府干渉の歴史、会員の選考方法が公選制から「政府が行うのは形式的任命に過ぎない」とする推薦制に変更されてきた経緯、それを無視した5年前の菅首相による6名の任命拒否から法人化までの学術会議弱体化に向けた動きなど歴史的経緯が分かりやすく説明されました。

国立大学の法人化による大学自治崩壊の危機と合わせ、国の機関としての権威と独立性を失う学術会議の法人化は、◎科学の立場から時の政権に警鐘を鳴らす(勧告)ができなくなり、◎研究の出口志向が強まり、◎研究資金の軍事優遇など財政的不公平などで『学問の自由』の条件が崩され、今後、安全保障を理由とした研究の機密化なども危惧されることが報告されました。 (ヒロシ)

お題「気配」

炎天下 つくつくぼうし 紛れてる (伝伝)

自由題

多様性 排除の先に じり貧待つ (空耳)

線香や あの公約も 立ち切れて (給付金)

10月のお題は「もしかして」

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。

革新市政の記憶

美賀多台 つだわたる

神戸市役所で1978年4月～2022年3月まで働きました。2／3が阪神淡路大震災後です。その経験から現在の市政について書いてみます。

宮崎、 笹山、 矢田、 久元の4市長の元で働いてきました。 笹山時代の「参加と対話」という市政運営にいたく感動し、 それを私の仕事や市民活動をする指針としてきました。

仕事は都市計画で住民のみなさんと話し合うことが大事でした。もちろん批判され意見が違うこともあります。しかしそれも含めて活かそうと働きました。

今の神戸市ではコールセンターを民間に委託し、 市民からの苦情電話を職員が直接受けるシステムになっています。現役時代に担当した地域を訪れるとき住民の方から職員が現場に来る回数が減り「一緒に考えるスタンスがない」と言われました。

■職員参加を断ち切る ■ 役所生活のほとんどで労働組合に関わってきました。当時の運動の重点は全職場全組合員を対象とした昼休み懇談会です。そこでは賃金等の労働条件だけではなく、仕事や職場の改善を求める意見交換を行い、職場ごとに要求書をまとめ交渉しました。それを繰り返すことで、職務権限は管理職にあっても担当職員の意見は配慮されてきました。福祉職場では新しい仕事に対して、必ず職員の意見をまとめて当局に要求を出していました。

2018年に労働組合は「違法専従問題」を批判されました。それ以降、神戸市は職務に関する意見、要求を聞かなくなりました。職場は正規職員を減員しながら再任用、臨時、派遣等と様々な雇用形態になっています。職場の親睦会がなくなり、全員が参加する歓送迎会や忘年会等も消えました。

さらに「成績主義」が導入され不当な評価にベテラン職員は「やる気」を無くしています。また市長の方針に異を唱える幹部職員は露骨な左遷人事を受けました。

その一方で主要ポストに國の官僚が増えました。上意下達が強くなっています。職場がバラバラになり上の意向ばかりを気にする、それが私の見方です。

■市民団体を支援する市政へ ■

革新市政には様々な定義がありますが、私は市民の意見を聞くことが必要条件だと思います。映画『ボストン市庁舎』で民主党市長は市民に対し「私に電話してくれ」と呼びかけました。

市民、市民団体、地域団体を活発にすることが地方自治です。それを支援するのが行政の役割です。これが久元市政では切り捨てられています。

職員が自由にモノが言え、住民と協力しながら地域と暮らしを良くしていく、そんな市政運営を期待しています。



◆10月のつどい 10月26日(日)

コープこうべ「出前講座」

「コープでんきを通じた持続可能な社会づくり」

講師 鬼沢康弘さん 14:00～16:00

西区文化センター2階第1会議室 参加費300円

※詳しくはチラシをご覧下さい

◆神戸憲法集会 11月3日(祝) 13:30～

講演 アルティシアさん「ジェンダー知らなきゃや
バい時代がやってきた！」 ※チラシ参照下さい

うはらホール（東灘区文化センター）

参加費 1000円 【主催：兵庫県憲法会議】

◆11月のつどいはありません

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は2025年11月1日(土)16:00～17:00

明るく元気に甲子園に響く校歌

もう4, 5年前からでしょうか、60年来の高校野球ファンである私は、甲子園球場で、勝利の時に韓国語で歌う京都国際高校の校歌に感動と励ましをもらっていました。今年の夏も同様に元気に校歌を韓国語で歌う姿に頼もしさを感じていました。以下は韓国語で書かれた校歌(私には韓国語で書くことはできません)日本語訳(学校訳)を紹介します。

東の海を渡りし 大和の地は
偉大な祖先 古の夢の場所
朝な夕なに 体と徳を磨く
我らのふるさと 韓日の学び舎

この曲を甲子園児がホームプレートに並んで韓国語で歌うのです。いうまでもなく球場はもとより、NHKを通して全国に響き渡るのです。

こうしたことに対してインターネットの掲示板に投稿される差別的用語を京都府、市が京都法務局に対して削除するよう要請しています。今日の朝鮮や韓国に対するヘイトニュースの状況を見ると、そうしたことに屈しないで甲子園で生徒たちが明るく元気いっぱいに校歌を歌う姿は、彼らの高校野球への打ち込みの凄さはもちろんのこと京都国際高校の教育のすばらしさを感じずにはいられません。ぜひみなさんも来年からの甲子園を味わってみてください。

(たけし)

ジョ一句

お題「もしかして」

もしかして マイナに吸われる プライバシー (空耳)

自由題

総裁選 中身替わらず 包装紙 (現妻)

核戦争 入口あれど 出口なし (伝伝)

11月のお題は「ローン(借金)」

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。



9月つどい

「自衛隊神戸住民訴訟が問いかけるもの」

自衛隊への名簿提供について松山英樹弁護士のお話を聞きました。

神戸市は、2020年より毎年、本人の同意なく、かつ、本人が拒否しても、自衛隊に対して、18歳及び22歳の

① 氏名、②住所、③性別、④生年月日

といった個人情報を、3万名分電子データで提供しています。これは、どんな点に問題があるのか?色々な角度から話していただきました。

○名簿提供は、2020年安倍内閣の時に、自衛隊法97条を根拠に閣議決定をしたことが、出発となっている。しかも、神戸市は、閣議決定前に、名簿提供を始めている。

○1954年に制定された自衛隊法では、基本的人権としてのプライバシー権利保障は、一切議論されていない。

○現在、全国で65%の自治体で名簿提供が行われている。

○明石市、さいたま市、広島市は、名簿提供していない。

○神戸市は、前のめりで進めている。(政令都市として、唯一自衛隊からの要請通りに4情報全て電子データで提供。ホームページで知らせていない、除外申請すら拒否)

感想の一部を紹介します。

★知らない間に個人情報が流れていることに恐ろしさを感じています。全てにおいて結果ありきで、解釈変更され、事が進んでいます。神戸市と政府が密着した状況がわかりました。この危険性を身邊に伝え、自らも学んでいきたい。

★これは、大きな問題ですね。

★もっと市民に知らせなくては。

(角屋)

2025年10月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク

台湾有事での「存立危機」認定とたたかう

(美賀多台) 伊東武是

「台湾有事は日本の有事」とは、台湾と中国との間で武力衝突がおきたとき、日本の自衛隊がこれに介入出動し、中国との間で戦争になる事態をいう。2015年制定の安保法制は、他国間の戦争に自衛隊が出動する余地を一定条件のもとに認めた（自衛隊法の改正など）。集団的自衛権の一部容認といわれるもので、そのために「戦争法」とも呼ばれた。南西諸島における自衛隊のミサイル基地建設など、わが政府の急ピッチな一連の軍拡路線は、台湾の危機事態に自衛隊を集団的自衛権行使として出動させる、その目的のためである。戦争準備は着々と進められている。

集団的自衛権の一部行使を容認する法律には、こう書かれている。「我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある事態」に自衛隊の出動を命じることができる（自衛隊法76条1項2号、略して「存立危機事態」）。とすれば、台湾有事がはたしてこの「存立危機事態」なのかが問われなければならない。しかしながら、この「存立危機事態」については、いまだに国会でも、国民の間でも、マスコミにおいても、平和市民運動のあいだでさえも、ほとんど議論されていない。あたかも既定事実のように、「台湾有事は、存立危機事態であり、自衛隊が出動される」と語られている。おそろしいことではないだろうか。

中国が台湾を攻撃する時、ついでに日本も攻撃しようなどとは考えていない。そう考えるのは国内のごく少数の右派とそれに惑わされた一部世論だけである。政府だってそのような被害妄想的な認識はもっていないはずだ。ならば、台湾危機がおこったとき、あのような厳重な要件の「存立危機」が認定できるはずがない、と誰もが思う。仙台高裁（2023.12.5判決）も、存立危機は「我が国が武力攻撃を受けた場合と同様な深刻、重大な被害が及ぶことが明らかな状況」と、お墨付きの判断を下している。台湾有事はまず日本の「存立危機」ではないのである。

にもかかわらず、政府は法をねじまげ「存立危機事態となった！」と認定して、自衛隊を出動させようと企んでいる。戦争に反対する私たちは、政府にそのような恣意的解釈を許さず、自衛隊の出動をさせない国民運動を真剣に考えなければならない。

◆12月のつどい 12月21日(日)

「政党にみる憲法改正案」(仮題) 講師 吉田維一弁護士

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16:00

◆11月16日(日)「國體ファシズムといかにして戦うか」前川喜平氏

◆11月30日(日)「日本人ファースト」をどうみるか 田野大輔氏

◆12月3日(土)「戦争と法」永井幸寿氏 ※以上チラシご覧下さい

◆11月22日(土)~24日(祝)日本のうたごえ祭典 in 神戸・兵庫



Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条 壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は 2025年12月1日(月)16:00~17:00

「原子力潜水艦」本格検討へ

今年9月防衛省が設置した「防衛力の抜本的強化に関する有識者会議」(座長・榎原経団連名誉会長)は、敵基地攻撃能力をもつ長距離ミサイル搭載の原子力潜水艦(以下原潜)の導入を進めるべきと提言した。(高市新首相は以前から原潜導入を主張)

原潜は動力として小型原子炉(原発の約 1/10)を使用し、現行のディーゼルエンジン型潜水艦に較べ、長距離・長期間潜航が可能で世界のあらゆる海域に展開する能力を有している。米国の原潜は70日間の潜航で運用され、横須賀、佐世保にも寄港し、また原子力空母も日本に頻繁に寄港を繰り返している。

振り返れば日本では1974年原子力船「むつ」が試験運転で放射能漏れを起こし廃船となった。米国が建造中の最新鋭の原潜(コロンビア)は、建造費1兆円といわれている。

日本では原子力基本法で「原子力は平和利用に限定する」とされており、また核兵器不拡散条約では原潜の燃料となる高濃縮ウランの保有は、非核国には認められていない。

原潜の国内製造となれば現行の潜水艦の建造を独占している神戸港の三菱重工と川崎重工となる可能性が高い。

先の戦争で軍港であった神戸は甚大な空襲被害を受けてきた。非核「神戸方式」で守られてきた神戸を再び軍港にしてはならない。

10月14日、川崎重工神戸工場で最新鋭潜水艦「そうげい」(3000t)の進水式が行われた。建造費736億円、世界最大級の能力を有している。

春日台・大西

お題「ローン(借金)」

ジョーク

世帯主「銀行ローン」と書いて出す(国勢調査)

自由題

いざとなりや やっぱり補完 維新の会(空耳)

軍事費と 福祉医療は 反比例(伝伝)

12月のお題は「半減期」

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。

10月つどい

「copeでんき」を通じた持続可能な社会づくり

copeこうべ SDGs 推進部の鬼澤さんの話を聞きしました。今年の夏の酷暑は、地球温暖化の問題を改めて考えさせる機会になったと思います。おそらく「持続可能な社会」(SDGs)を実現するうえで最も大きな課題は、「人類の活動による大気中の二酸化炭素(CO₂)濃度上昇による地球温暖化」でしょう。お話しでも、このままでは 2100 年までの世界平均気温の上昇は 1850~1900 年を基準にして最大 5.7℃となるという恐ろしいシナリオが紹介されました。

(パリ協定の目標は 1.5°C)

copeこうべでは、2030 年までに CO₂ 排出量を半減することを目標として、石炭・石油などの化石燃料を使わない「脱炭素電力供給」事業をすすめているそうです。一つの柱が再生可能エネルギーによる発電(FIT 電気という)の普及です。2025 年 9 月現在で、copeでんきとして約 33000 世帯に電力を供給していますが、そのうち 30% を太陽光発電やバイオマス火力発電などの FIT 電気が占めています。残りは石炭・石油に比べ CO₂ 排出量の少ない天然ガス火力発電による電気ですが、将来的には FIT 電気の割合を増やしていきたいとの話でした。

日本では「脱炭素」とさかんに言いますが、「国をあげて再生可能エネルギー」とはなっていないように見えます。copeでんきなどの取り組みはまだまだ小さなものです。しかし、いきなり再生可能エネルギー 100% とはならないので、もっと関心を高めて広げて、でもちょっと急がないといけないのではないかと思いました。

(参加者は 14 名)

樺野台 KH



2025年11月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)



HPリンク

高市内閣をどうみるのか

ここ数日の神戸新聞を見ると「高市内閣支持69%に上昇」「9条改正で議論加速一致」と第一面に報道されています。憲法9条を守って平和な国をと願っている私たちは、この高市内閣の状況をどう見ればいいのだろうか、二つの観点から私なりの意見を述べてみんなで議論していきたいと思い、一文を寄せさせてもらいました。



一つ目は、日本の歴史上初めての女性首相誕生というのに、メディアも人々の間でもそんなに湧かなかつたのを不思議に思っていた。選択的夫婦別姓の実現にむけて高市氏はただ反対というだけでなく当事者の口を塞ごうと行動してきた結果、ジェンダー指数の低下につながるとして高市氏への批判は、根強く底流として潜んでいたとみられる(特に女性の文化人・知識人たちに)。二つ目は安倍政権継承を堂々と述べる高市氏への日本会議の強い支持なども含めて極右政治家としての姿が多くの国民にアピールしたことなどが考えられる。政権も一か月経つと保守政治家の面目をいっそう際立させている。冒頭に述べた憲法改正への動きと最近の「存立危機事態」(先月号の伊東文の再読の訴え)と非核三原則「核兵器を作らず、持たず、持ち込ませず」の改定を行おうとしています。「存立危機事態」では台湾危機に際して自衛隊の派兵も考えられています。自衛隊派兵は隊員の生命の危機は明白になります。「二度と戦争しない、殺さない」としてきた日本の80年の平和主義が脅かされてきます。「非核三原則」の改悪に対しすでに反対を表明し日本被団協は日本原水協と原水禁に署名と行動を呼びかけています。

私たちは、こうした高市政権の本質に向き合って、粘り強い日本被団協の運動に学びながら、やっと手を結んだ原水協と原水禁を励まし、広範な市民運動と連結して、教育や福祉、人権、平和を大事にする立憲野党の政府づくりを目指したいと思います。
(竹の台 たけし)

◆12月のつどい 12月21日(日) 14:00~16:00

「政党にみる憲法改正案」(主に自民党、参政党、維新の会)

講師 吉田維一弁護士 西区文化センター2階第1会議室

※詳しくはチラシをご覧下さい

◆1月のつどい 2026年1月18日(日) 14:00~16:00

「西区の魅力発見講座」西区役所地域協働課の職員さんを招いて



Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条 壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は 2026年1月10日(土)16:00~17:00

「人類と核の80年」核力オースの時代日本の針路

太田昌克(共同通信論説委員)が講演

11月19日兵庫憲法集会が、「戦争させない、9条壊すな総がかり行動兵庫県実行委員会」の主催で行われ約100名が参加した。

太田さんの講演概要は次の通りです。

- ・10月末の米中会談前にトランプ大統領は核実験の再開を表明、関税交渉での圧力を意図したものだが中国、ロシアなど核保有国の核実験を誘発するものだ。
- ・高市新政権は、米国の大核の傘に入っている現状から「非核3原則」の核の持込みを認める検討をしており、アジア近隣諸国との緊張を高め、とりわけ米軍基地が有る沖縄などの地域住民を危険にさらしている。
- ・国連の非核諸国は唯一の被爆国日本の核への向き合い方を注目しており、核依存の強化は緊張を増幅するものだ。
- ・トマス・シェリング(米国ノーベル経済学者)は、「核のタブー」の著書で「広島・長崎の被爆経験をしている日本は核不拡散の特別の責務を有している」と。
- ・米国とイスラエルによるイランのウラン濃縮施設攻撃は核保有国が非核国を攻撃する明らかなNPT条約(核不拡散条約)違反である。核保有国は非核国安全保障を担保するのが本条約だ。
- ・ウクライナはロシアからの離脱時、配備されていた核兵器をロシアへ移送し非核宣言をした(ブダペスト覚書)。モスクワの凶器になることを回避したのだ。
- ・前の石破政権は核兵器禁止条約会議への参加を検討したが断念。
- ・高市政権は、戦争の危機を煽り戦争できる国にしようとしている。今こそ分断を埋め地域の安定を図る首脳平和外交が必要だ。 (文責・大西)

お題「半減期」

プルトニウム 半減までに 2万年 (空耳)

自由題

再稼動 繰り返す事故 知らぬ顔 (伝伝)

火の車 存立危機の わが家計 (現妻)

1月のお題は「餅(もち)」

y-onishi@live.jp

に投句をお待ちしています。

『國體ファシズム』といかにして戦うか?

高市政権での自民党に加え参政党、維新の会など國體を進める動きが強くなっている。そのような中、田中隆夫氏「治安維持法から100年」、松山秀樹氏「レッドページから75年」、その後元文部科学省事務次官 前川喜平氏の『國體ファシズム』といかにして戦うか?」の講演を400人以上の方とお聞きした。

神話・家族国家論、日本人宿命論に基づいた国家観を國體とし、明治から現在に至るまで国民を教化し続いている。国民の思想弾圧として戦前に治安維持法を制定。その後、文部省が編纂した「國体の本義」では、日本を「一大家族国家」とし個人主義を排斥し(天皇への)忠と(家長への)孝を軸とした儒教道徳の創作物語として国民の統合を図った。

第二次大戦後、政体は変わったが天皇や國體思想を持つ者が護持された。新教育においては修身科と教育勅語は停止されたが、それに代わるものとして「特設道徳(週1回の道徳)」が始まり、更に「期待される人間像」として「国家を愛する忠誠心、日本の象徴である天皇陛下に敬愛の念を持つところに日本の独自の姿がある」と発表される。日本国憲法にも「天皇は日本國の象徴であり日本國民統合の象徴であって、この地位は、主權の存する國民の総意に基づく」とあるが実際そのようなことはないため個人の内心の自由を侵していると言える。戦後の米国の占領においては「民主化」→「反共」へと変化し、レッドページが行われた。今も日本の憲法の上に戦後からの米国優先の政策が続き、國體思想・國家神道、戦前の日本軍への回帰の方向へと進んでいる。

最も重要な生命・自由・幸福という価値観に立った社会を作るためには努力が必要である。國體ファシズムは国民を洗脳しようとするため、メディア・教育・学問の自由を守っていく。そして排外主義ではなく多文化共生・近隣諸国との友好を進めていく。今、私達のできることとして、多くの方に関心を持ってもらい、話し合う機会を持ち、連帯を広げていくことが大切であると実感した。
(竹の台 N)

2025年12月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先]TEL 090-3359-0776(大西)